

令和2年度(2020年度)

管理事業名	地域環境保全事業			総合計画の体系	大綱 5 環境 政策 1 環境先進都市のまちづくり 施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 7 環境保全費
部局名	環境部・下水道部	予算執行所属	環境政策室・管路保全室		
予算大事業名 地域環境保全事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 地域環境保全事業				
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】市民の良好な生活環境の保全を目的としています。 【概要】・生物多様性保全施策推進事業(市民が生物多様性について理解し、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルを実践することを目指し、啓発等を行います) ・地域循環共生圏構築事業(地域循環共生圏の構築を具体化するための検討会を立ち上げ、吹田市の公共施設への木材利用を推進します) ・危険動物捕獲事業(アライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行うとともに、捕獲器の貸し出しを行います) ・環境美化啓発事業(環境美化の啓発を図るとともに、清掃用具の貸与などの支援を行います) ・環境美化清掃委託事業(環境美化推進重点地区等における清掃を行います) ・河川環境事業(河川管理者である大阪府との協働により、糸田川の河川清掃を行い、環境の美化・保全に努めます)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数	箇所	2(9)	0(9)	0(9)	地区指定をした箇所数( )は総指定地区数
環境美化推進員数	人	1,224	1,140	1,139	推進員の総数(任期2年)
生物多様性保全イベント参加者数	人	2,969	3,202	623	生物多様性保全イベント参加者総数
成果の説明	環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区に指定してきたことで、環境美化に対する意識の向上につながり、ポイ捨て等違反行為が減少してきました。指定箇所数については、令和10年度までに15箇所に拡大します。直近の指定箇所数については、平成30年度を最後に指定できていない状況です。 市民・事業者が連携して、清潔できれいなまちをつくるためには、環境美化推進員数を増やしていく必要があります。 環境美化推進員については、新型コロナウイルス感染症の影響により、声掛けができなかったことから、微減しています。 生物多様性保全イベント参加者数について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	10	7	3	△3
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	441	491	194	△297
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	451	498	197	△300
給与関係費	32,781	32,860	26,079	△6,782
物件費	11,106	9,263	14,182	4,919
維持補修費	1,480	1,553	1,188	△365
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	35	76	118	42
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	754	847	847	-
費用				
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,449	2,767	2,169	△598
退職手当引当金繰入額	9,400	1,668	△4,106	△5,774
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	58,006	49,034	40,476	△8,557
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△57,555	△48,536	△40,279	8,257
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	930	-	-	-
特別収入 小計(d)	930	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	930	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△56,625	△48,536	△40,279	8,257
一般財源充当額	49,656	48,138	46,112	△2,026
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△6,969	△398	5,833	6,231

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員給与12,506千円(3,021千円)の減
物件費	自然環境調査及び生物多様性保全施策検討支援業務委託料 5,071千円
維持補修費	環境美化事業 路上喫煙禁止標示シート修繕料 1,188千円(365千円の減)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	451	498	197	△300
行政サービス活動支出	50,107	48,636	46,309	△2,327
行政サービス活動収支差額	△49,656	△48,138	△46,112	2,026
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△49,656	△48,138	△46,112	2,026
一般財源充当額	49,656	48,138	46,112	△2,026
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)府支出金 194千円(297千円の減) (行政サービス活動支出)職員給与 12,506千円(3,021千円)の減
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度	371,030 人	156 円	市民1人当たり107円のコストがかかっています。(令和3年3月31日現在の人口)主に給与関係費の減少により、市民1人あたりのコストが減少しています。
	令和元年度	373,978 人	131 円	
	令和2年度	376,944 人	107 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,767	2,169	△598
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,767	2,169	△598
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	5,234	4,387	△847	固定負債	26,154	20,071	△6,083
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	5,234	4,387	△847	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	26,154	20,071	△6,083
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	28,921	22,241	△6,680
有形固定資産	-	-	-	純資産	△23,686	△17,853	5,833
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	-	-	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	5,234	4,387	△847
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	5,234	4,387	△847				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

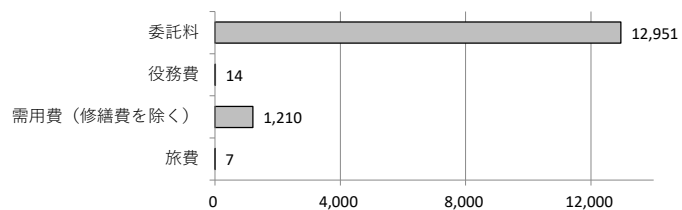
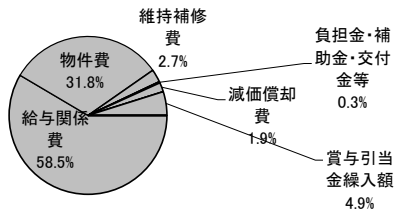
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	3.38 人	218 日		24,142
給与関係費等	23,364 千円	778 千円		
内、時間外勤務手当	781 千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	路上喫煙禁止地区の喫煙所の減価償却による847千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	阪急南千里駅喫煙所 ほか
取得年月日	平成26年11月28日
建物・工作物の取得価額	9,137 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,750 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		16.2	17.0	13.0	△4.0
施設老朽化比率		33.4	42.7	52.0	9.3
受益者負担比率		0.0	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.1	99.0	99.6	0.6
経常費用対公共資産比率		634.8	536.7	443.0	△93.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費26,079千円(58.5%)、物件費14,082千円(31.8%)となっています。  
 経常収入の府支出金は、大阪版地方分権推進制度交付金194千円で、使用料及び手数料は鳥獣の飼養登録等に係る手数料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

吹田市環境美化に関する条例が目的としている清潔できれいなまちづくり、市民の生活環境の向上を図るためには、市民・事業者で構成される環境美化推進員をはじめ多くの方々と協力して公共空間の環境美化の推進を進めていくことが必要です。  
 地区指定してきた箇所については、環境美化に対する意識の向上につながり、地区指定をしていない箇所と比べて、ポイ捨てや歩きタバコ等違反行為が減少しています。  
 今後、地区指定の拡大に向けて、地域住民等の環境美化への理解を深める取り組みを検討するとともに、喫煙所の在り方を整理することが必要です。加えて、環境美化推進員数の更なる確保のため、地域による身近な清掃活動等に参加できるきっかけとなるような取り組みを検討することが必要です。  
 現状の経常費用の構成については、妥当であるものの、地区指定を拡大していくに伴い、物件費である清掃委託事業の委託料の増加が見込まれるため、シルバー人材センターや地域の団体など、幅広い担い手の確保が課題です。また、路上喫煙禁止標示シートの維持補修費の増加も見込まれることから、標示シートの簡素化や計画的に修繕していくことが必要です。  
 生物多様性保全イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた開催方法を検討していきます。